



## 衣類タグの洗濯表示（取扱い絵表示）

衣替えの季節となりました。寒い冬の間活躍してくれた衣類がオフシーズンを迎えます。スポーツ選手は、オフシーズンの過ごし方が来季の活躍に影響すると言われていています。衣類も同様にオフシーズンの過ごし方が重要。タンスやクローゼットでゆっくり休んでいたのに、次のシーズンが来て出してみたらシミや虫くいで活躍できなくなってしまうことがあります。来シーズンも活躍してもらうためには、休養前に衣類をベストコンディションにしておくお手入れが大事です。衣類のお手入れで重要なポイントは、それぞれの衣類にふさわしい洗濯方法であり、衣類に付いている洗濯表示で確認することができます。



その洗濯表示ですが、以前とは変わったことにお気づきですか。気づいてはいたけど、洗濯機のマークがなくなってしまった、○、△や□のマークの意味がわからない、という方もおられるのではないのでしょうか。今月度は新しくなった洗濯表示についてわかりやすく解説します。

### 洗濯表示について

国内で販売される衣類等の繊維製品の洗濯表示は、家庭用品品質表示法に基づいて繊維製品品質表示規程で定められています。当該規程での取扱表示は、日本工業規格（J I S）で定めている「繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法」を引用しています。2014年10月に、国際規格（ISO規格）に整合した新J I Sが制定され、家庭用品品質表示法に基づく繊維製品品質表示規程が改正され、2016年12月から施行されています。グローバルに統一された表示になることで、海外で購入した衣類の取扱いもスムーズに行なえるようになると考えられています。

### 改正のポイント

#### ① 表示の考え方の変更

従来のJ I Sは「家庭における洗濯などの取扱いはこの方法がよい」という指示表示でしたが、新J I Sでは、「回復不可能な損傷を起こすことのない最も厳しい処理・操作」にすると規定されました。つまり、表示に示されたよりも強い作用や高い温度で行なうと損傷につながることを表しています。

#### ② 適用範囲の拡大

従来のJ I Sは「家庭における洗濯などの取扱い方法を指示するための規程でしたが、新J I Sでは「家庭における取扱い方法と、商業クリーニング（ドライクリーニング及びウエットクリーニング）についてと適用範囲が広がりました。

#### ③ 記号（マーク）が 22 種類から 41 種類に増加






ドラム式洗濯乾燥機などによる「タンブル乾燥」、色柄物衣類に使える「酸素系漂白剤」、クリ

クリーニング店が特殊な技術で行なう「ウェットクリーニング」などが新たに追加され、よりきめ細かい取扱い情報となりました。


新表示の構成

国際規格に合わせたことにより、従来表示にあった、温度を表す「高」、強さを表す「弱」などの、記号の中には日本語表示はなくなりました。記号の種類も大幅に増え、日本語表示もなくなったことから、一見「複雑で難しい」「覚えられない」と思われがちですが、実は非常にシンプルな構成になっていることがわかります。

① 5つの基本記号

家庭洗濯	漂白	乾燥	アイロン	クリーニング
				





② 付加記号

強さ	温度	禁止
線なし 通常の強さ	● ●● ●●● 低 → 高	
弱い 非常に弱い		




温度は、洗濯の液温は桶の中に数字で表示しています。●で表す温度は、タンブル乾燥、アイロン仕上げで異なりますので、要注意です。

表示例

① 家庭洗濯




			
液温は 50℃を限度とし、洗濯機で洗濯処理ができる	液温は 50℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯処理ができる	液温は 40℃を限度とし、手洗いができる	家庭での洗濯禁止

② 漂白

		
塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる	酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止	塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止

③ 乾燥

【タンブル乾燥】





		
タンブル乾燥ができる (排気温度上限 80℃)	タンブル乾燥ができる (排気温度上限 60℃)	タンブル乾燥使用禁止

【自然乾燥】

				
つり干し	平干し	ぬれつり干し	ぬれ平干し	日陰のつり干し






ぬれつり干し・ぬれ平干しとは、洗濯機による脱水や手でねじり絞りをしないで干すことです。日陰干しは、干し方のマークの□の中の左上に斜めの線で表します。

④ アイロン





			
底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げができる	底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げができる	底面温度 110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げができる	アイロン仕上げ禁止

⑤ クリーニング

【ドライクリーニング】

				
パークロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングができる	パークロロエチレン及び石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる	石油系溶剤によるドライクリーニングができる	石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる	ドライクリーニング禁止

【ウエットクリーニング】

			
ウエットクリーニングができる	弱い操作によるウエットクリーニングができる	非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる	ウエットクリーニング禁止

衣替えのこの時期に、新しくなった洗濯表示の意味を理解し、お手入れに役立てていただければと思います。

【参考にした情報】

- ・消費者庁 家庭用品品質表示法に基づく繊維製品品質表示規程の改正について

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household\\_goods/pdf/laundry\\_symbols\\_161104\\_0001.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/household_goods/pdf/laundry_symbols_161104_0001.pdf)